

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書	
高等部 第3学年 単一Ⅰ類型		日常生活の指導		
目 標	(知) 日常生活における基本的習慣を身に付けるため、身辺自立に必要な知識・技能を身に付ける。 (思) 日常生活における課題に対して解決したり、自分が考えたことを表現したりしようにすることができる。 (学) 毎日の継続した諸活動に自分から行い、望ましい生活習慣の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・係活動、周囲の人との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け、歯磨き など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・持ち物の整理、制服をたたむ、更衣室の利用 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、着替え、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など ※登校後、給食時、給食前後、下校前の日常生活の時間において、個々の課題によって上記内容の中から取り組みます。	(知) 登下校の挨拶、持ち物の整理、衣類の着脱、片付けをすることができる。食事マナーやトイレマナーを守ることができる。 (思) 身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に伝えることができる。 (学) 係活動や集団行動などを心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようすることができる。	学級 個別	126.1
Ⅰ学期授業時数				126.1
2 学 期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・係活動、周囲の人との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け、歯磨き など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・持ち物の整理、制服をたたむ、更衣室の利用 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、着替え、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など ※登校後、給食時、給食前後、下校前の日常生活の時間において、個々の課題によって上記内容の中から取り組みます。	(知) 登下校の挨拶、持ち物の整理、衣類の着脱、片付けをすることができる。食事マナーやトイレマナーを守ることができる。 (思) 身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に伝えることができる。 (学) 係活動や集団行動などを心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようすることができる。	学級 個別	145.5
2学期授業時数				145.5
3 学 期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・係活動、周囲の人との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け、歯磨き など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・持ち物の整理、制服をたたむ、更衣室の利用 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、着替え、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など ※登校後、給食時、給食前後、下校前の日常生活の時間において、個々の課題によって上記内容の中から取り組みます。	(知) 登下校の挨拶、持ち物の整理、衣類の着脱、片付けをすることができる。食事マナーやトイレマナーを守ることができる。 (思) 身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に伝えることができる。 (学) 係活動や集団行動などを心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようすることができる。	学級 個別	67.9
3学期授業時数				67.9
総授業時数				339.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2・3学年 単一Ⅰ類型		作業学習 (紙工)			
目 標	(知) 働くために必要な習慣(挨拶・報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け)を理解し、活用することができる。				
	(思) 働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱ったりすることができる。				
	(学) 働くことへの関心を高め、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ 学 期	「製品作り」 ・紙工の工程を確認して作業をする。 ・牛乳パックから丁寧にラミネートをはがす。 ・ラミネートをはがした紙を細かくちぎる。 ・紙を水の分量に注意してミキサーにかける。 ・均一の厚さや形になるように慎重に紙をすく。	(知) 紙工の作業学習でどのような作業をするか、体験を通して理解することができる。 (思) 自分が習得するべき技術について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に作業を行うグループの仲間と協力して作業をしようとする気持ちを養う。	グループ 学級	2	
	「製品作り」 ・紙工の工程を確認して作業をする。 ・牛乳パックから丁寧にラミネートをはがす。 ・ラミネートをはがした紙を細かくちぎる。 ・紙を水の分量に注意してミキサーにかける。 ・均一の厚さや形になるように慎重に紙をすく。 ・形が崩れないようローラーなどで水分を取る。 ・封筒、ぼち袋、祝い箸袋などを基本に製品づくりをする。 ・社会人講師による指導	(知) 作業で使用する道具の名称を理解し、丁寧に、正確に扱うことができる。 (思) 道具を正確に使用するためのポイントを意識しながら取り組むことができる。 (学) 技術の習得に向けて、繰り返し取り組もうとする気持ちを養う。		75	
	「Ⅰ学期のまとめ」 ・Ⅰ学期の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1	
Ⅰ学期授業時数					78
2 学 期	「製品作り」 ・紙工の工程や製品作りの確認をする。 ・文化祭に向けての製品作りをする。	(知) 製品作りの工程の中で自分が担当する作業を正確に行うことができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようとすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	49	
	「文化祭に向けての取組」 ・文化祭に向けての製品作りをする。 ・看板作り、店出し練習などをする。	(知) 文化祭までの活動や文化祭での役割について知り、最後まで取り組むことができる。 (思) 繰り返して同じ活動をすることで、見通しをもって自ら活動できるようになる。 (学) 仲間と協力したりお客様への対応を学んだりして、人と関わろうとする気持ちを養う。		20	
	「製品作り」 ・ピースデパートに向けての製品作りをする。 ・紙すき、製品作りに班分けし、製品作りを行う。 ・社会人講師による指導	(知) 製品作りに必要な技術について知ることができる。 (思) 講師の説明を聞いたり、手本を見たり、一緒に作業をしたりすることを通して、正しい技術を身に付けることができる。 (学) 講師への挨拶や返事、言葉遣いについて知り、実践しようとする気持ちを育てる。		20	
	「2学期のまとめ」 ・2学期の活動のまとめ・振り返り	(知) 製品作りの工程の中で自分が担当する作業を正確に行うことができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようとすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。		1	
2学期授業時数					90
3 学 期	「製品作り」 ・みなとフェスタに向けての製品作りをする。	(知) 製品作りの工程の中で自分が担当する作業を丁寧にすることができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようとすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	41	
	「Ⅰ年間のまとめ」 ・Ⅰ年間の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) Ⅰ年間の活動を振り返り、自分が頑張ってきたことを発表することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1	
3学期授業時数					42
総授業時数					210

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2・3学年 単一Ⅰ類型		作業学習 (手工芸)			
目 標	(知) 働くために必要な習慣（挨拶、報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け）を理解し、活用することができる。 (思) 働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱ったりすることができる。 (学) 働くことへの関心を高め、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ 学 期	「作業オリエンテーション」 ・作業グループについて知る。	(知) 手工芸の作業学習でどのような作業をするか、体験を通して理解することができる。 (思) 自分が習得するべき技術について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に作業を行うグループの仲間と協力して作業をしようとする気持ちを養う。	グループ 学級	2	
	「請負作業・製品作り」 ・布製品作り ・生活雑貨作り ・新聞紙袋作り ・社会人講師による指導	(知) 作業で使用する道具の名称を理解し、丁寧に、正確に扱うことができる。 (思) 道具を正確に使用するためのポイントを意識しながら取り組むことができる。 (学) 技術の習得に向けて、繰り返し取り組もうとする気持ちを養う。		75	
	「Ⅰ学期のまとめ」 ・Ⅰ学期の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1	
Ⅰ学期授業時数					78
2 学 期	「請負作業・製品作り」 ・布製品作り ・生活雑貨作り ・新聞紙袋作り	(知) 請負作業や製品作りの工程の中で自分が担当する作業を正確に行うことができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	49	
	「文化祭に向けての取組」 ・店出しの内容を考える。 ・看板作り、店出し練習などをする。	(知) 文化祭までの活動や文化祭での役割について知り、最後まで取り組むことができる。 (思) 繰り返し同じ活動をすることで、見通しをもって自ら活動できるようになる。 (学) 仲間と協力したり、お客様への対応を学んだりして、人と関わろうとする気持ちを養う。		20	
	「請負作業・製品作り」 ・布製品作り ・生活雑貨作り ・新聞紙袋作り ・ピースデパートに向けての製品作りをする。 ・社会人講師による指導	(知) 請負作業や製品作りの工程の中で自分が担当する作業を正確に行うことができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。		20	
	「2学期のまとめ」 ・2学期の活動のまとめ・振り返り	(知) 請負作業や製品作りの工程の中で自分が担当する作業を正確に行うことができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。		1	
2学期授業時数					90
3 学 期	「請負作業・製品作り」 ・布製品作り ・生活雑貨作り ・新聞紙袋作り ・みなとフェスタに向けての製品作りをする。	(知) 請負作業や製品作りの工程の中で自分が担当する作業を丁寧にすることができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	41	
	「1年間のまとめ」 ・1年間の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 1年間の活動を振り返り、自分が頑張ってきたことを発表することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1	
3学期授業時数					42
総授業時数					210

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2・3学年 単一Ⅰ類型		作業学習 (染め)			
目 標	(知) 働くために必要な習慣(挨拶・報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け)を理解し、活用することができる。 (思) 働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさに報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱ったりすることができる。 (学) 働くことへの関心を高め、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「作業オリエンテーション」 ・ のり染めについて知る。 ・ 染めの工程(のり置き、色描き、のり落とし)について知る		(知) 染めの作業学習でどのような作業をするか、体験を通して理解することができる。 (思) 自分が習得するべき技術について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に作業を行うグループの仲間と協力して作業をしようとする気持ちを養う。	グループ 学級	2
	「製品作り」 ・ 自分の担当の作業をする。(のり染め、はさみでの裁断、貼り付け、裁縫など) ・ 社会人講師による指導(型友禪)		(知) 作業で使用する道具の名称を理解し、安全に留意しながら丁寧に扱うことができる。 (思) 道具を正確に使用するためのポイントを意識しながら取り組むことができる。 (学) 技術の習得に向けて、繰り返し取り組もうとする気持ちを養う。		75
	「1学期のまとめ」 ・ 1学期の活動のまとめ、振り返り		(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
Ⅰ学期授業時数					78
2 学 期	「製品作り」 ・ 自分が担当する作業を行う。(のり染め、はさみでの裁断、貼り付け、裁縫など) ・ 社会人講師による指導(ペンガラ染め) ・ 文化祭に向けての製品を作る。		(知) 製品作りの工程の中で自分が担当する作業を正確に行うことができる。 (思) 講師の説明を聞いたり、手本を見たり、一緒に作業をしたりすることを通して、正しい技術を身に付けることができる。 (学) 講師への挨拶や返事、言葉遣いについて知り、実践しようとする気持ちを育てる。	グループ 学級	50
	「文化祭に向けての取組」 ・ 文化祭に向けての製品作りをする。 ・ 看板作り、店出し練習などをする。		(知) 文化祭までの活動や文化祭での役割について知り、最後まで取り組むことができる。 (思) 他者と協力してよりよい製品を作ろうとすることができる。 (学) 仲間と協力したりお客様への対応を学んだりして、人と関わろうとする気持ちを養う。		20
	「製品作り」 ・ ビーズデパートに向けての製品作りをする。 ・ 染色作業、製品作りに班分けし、製品作りを行う。		(知) 製品作りに必要な技術について知ることができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようことができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。		19
	「2学期のまとめ」 ・ 2学期の活動のまとめ・振り返り		(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
2学期授業時数					90
3 学 期	「製品作り」 ・ みなとフェスタに向けての製品作りをする。		(知) 製品作りの工程の中で自分が担当する作業を丁寧にすることができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようことができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	41
	「1年間のまとめ」 ・ 1年間の活動のまとめ、振り返り		(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 1年間の活動を振り返り、自分が頑張ってきたことを発表することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
3学期授業時数					42
総授業時数					210

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2・3学年 単一Ⅰ類型		作業学習 (農業)			
目 標	(知) 働くために必要な習慣(挨拶・報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け)を理解し、活用することができる。				
	(思) 働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱ったりすることができる。				
	(学) 働くことへの関心を高め、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「作業オリエンテーション」 ・土作り、種まき、水やりなどの園芸の作業内容を知る。 ・使用する道具の名前や使い方を知る。		(知) 農業の作業学習でどのような作業をするか、体験を通して理解することができる。 (思) 自分が習得すべき技術について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に作業を行うグループの仲間と協力して作業をしようとする気持ちを養う。	グループ 学級	2
	「野菜の栽培や収穫」 ・野菜の栽培や収穫をして、袋詰め、販売をする。 ・社会人講師から農業の基本的な栽培管理を学ぶ。		(知) 作業で使用する道具の名称を理解し、丁寧に、正確に扱うことができる。 (思) 繰り返し作業を行うことで準備や作業、片付けに見通しをもって取り組むことができる。 (学) 作業に達成感を得て、主体的に取り組む気持ちを養う。		75
	「Ⅰ学期のまとめ」 ・Ⅰ学期の活動のまとめ、振り返り		(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
Ⅰ学期授業時数					78
2 学 期	「野菜の栽培や収穫」 ・野菜の栽培、収穫をして、袋詰め、販売をする。		(知) 収穫から販売までの手順や流れを理解することができる。 (思) 必要に応じて、報告・連絡・相談をして作業をすることができる。 (学) 作業に達成感を得て、主体的に取り組む気持ちを養う。	グループ 学級	49
	「文化祭に向けての取組」 ・文化祭の店出し準備をする。 ・文化祭販売用作物の収穫をする。		(知) 文化祭までの活動や文化祭での役割について知り、最後まで取り組むことができる。 (思) 繰り返して同じ活動をすることで、見通しをもって自ら活動できるようになる。 (学) 仲間と協力したりお客様への対応を学んだりして、人と関わろうとする気持ちを養う。		20
	「野菜の栽培や収穫」 ・野菜の栽培、収穫をして、袋詰め、販売をする。 ・社会人講師から農業の基本的な栽培管理を学ぶ。		(知) 収穫から販売までの手順や流れを理解し、身に付けることができる。 (思) 必要に応じて、報告・連絡・相談をして作業をすることができる。 (学) 収穫することや、販売することで達成感を得て、主体的に取り組む気持ちを養う。		20
	「2学期のまとめ」 ・2学期の活動のまとめ、振り返り		(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
2学期授業時数					90
3 学 期	「野菜の栽培や収穫」 ・野菜の栽培、収穫をして、袋詰め、販売をする。		(知) 自分が担当する作業を正確に行うことができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	41
	「1年間の振り返り」 ・1年間の活動のまとめ、振り返り」		(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 1年間の活動を振り返り、自分が頑張ってきたことを発表することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
3学期授業時数					42
総授業時数					210

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書			
高等部 第3学年 単一Ⅰ類型		生活単元学習	①社会「絵でわかることのせいかつずかん1　みのまわりのきほん」（合同出版） ②地図「いちばんわかりやすい小学生のための学習日本地図帳」（成美堂出版） ③理科「はるなつあきふゆ　楽しく遊ぶ学ぶ　きせつの図鑑」（小学館） ④職業家庭「あそびのおうさまずかん7　たべもの増補改訂」（学研） ⑤道徳「絵でわかることのせいかつずかん4　おつきあいのきほん」（合同出版） ⑥外国語「えいごえほん　どうさんがっこうにいく」（あかね書房）			
目標	(知) 身近な社会との関わりに気付くとともに、社会生活に必要な基礎的な能力と態度を身に付ける。 (思) 日常生活に関係の深い事柄に関心をもつとともに、課題や解決策に気付き、考えたことを表現しようとすることができる。 (学) 明るく豊かな家庭生活の大切さに気付くとともに、現在や将来の生活に生かそうとする実践的な態度を養う。					
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標		授業形態	時数
Ⅰ学期	「人との関わりの基本的なルールとマナーについて知ろう」 ・挨拶や清潔、人との関わり方についてのルールを確認する。	①⑤	(知) 人との関わりの基本的なルールとマナーについて知ることができる。 (思) 身に付けたルールやマナーを実践しながらコミュニケーションを取ることができる。 (学) 人との関わりにおいて、より良い人間関係を形成しようとする態度を養う。		学級	4
	「基本の調理をしよう(Ⅰ)」【食育】 ・友達と相談してメニューを選ぶ。 ・調理をする。	④	(知) 調理器具の名前や安全な使用方法を理解することができる。 (思) 食事について楽しんで考えることができる。 (学) 普段食べている食事の材料や調理方法について学び、日常生活においても取り入れようとする態度を養う。		学級	4
	「公共のルールを守って買物に行こう(Ⅰ)」【校外学習】 ・交通ルールや公共の場所でのマナーについて学ぶ。 ・調理実習の買い出しを行う。 ・校外学習の振り返りを行う。	⑤	(知) 公共のルールやマナーについて知ったり、校外学習の活動の流れについて見通しをもったりすることができる。 (思) 学習したルールやマナーを意識しながら校外学習を行い、公共の施設を利用することができる。 (学) 公共のルールやマナーを知ること、社会生活における一員であるということを理解した上で生活を送ろうとする態度を養う。		学級	4
	「野菜を育てよう(Ⅰ)」 ・植物の栽培・観察・収穫を行う。	③	(知) 野菜の名前や特徴、栽培方法を知ることができる。 (思) 野菜の栽培や観察を通して、生長に必要な事柄を考えたり、表現したりすることができる。 (学) 植物を大切に扱ったり、生命を尊重したりしようとする態度を養う。		学級	8
	「お楽しみ会をしよう(Ⅰ)」 ・準備や当日の役割を決め、練習をする。		(知) 活動内容や活動時のルールやマナーを知り、見通しをもつことができる。 (思) 準備段階における作業や当日の自分の役割について見通しをもち、責任をもって行うことができる。 (学) 友達と協力して活動したり、ルールやマナーを意識して集団参加したりする態度を養う。		類型 学級	6
Ⅰ学期授業時数						26
Ⅱ学期	「野菜を育てよう(Ⅱ)」 ・植物の栽培・観察・収穫を行う。	③	(知) 野菜の名前や特徴、栽培方法を知ることができる。 (思) 野菜の栽培や観察を通して、生長に必要な事柄を考えたり、表現したりすることができる。 (学) 植物を大切に扱ったり、生命を尊重したりしようとする態度を養う。		学級	6
	「衣服の整理について学ぼう」 ・衣服の整理整頓の方法について知り、練習をする。	①	(知) 衣服の量みやアイロンなどの道具の安全な使用方法を知ることができる。 (思) 衣服の量み方について理解し、整理整頓の大切さについて考えることができる。 (学) 自分の衣服の整理の仕方を学び、学んだ成果を普段の生活の中に取り入れようとする態度を養う。		学級	2
	「食べ物について知ろう」 ・食べ物や栄養について知る。	④	(知) 食材に含まれる栄養素について知る。 (思) 健康な体を作る食事について理解し、バランスの良い食事の構成について考えることができる。 (学) 健康な食生活を送ろうとする態度を養う。		学級	2
	「基本の調理をしよう(Ⅱ)」【食育】 ・栄養バランスを考えた食事について考え、メニューを決める。 ・調理をする。	④	(知) 調理器具の名前や安全な使用方法を理解することができる。 (思) 栄養バランスが取れた食事の組み合わせを考えることができる。 (学) 健康な体を作る食事の材料や調理方法について学び、日常生活においても取り入れようとする態度を養う。		学級	3
	「英語に親しもう」 ・英語の学習をする。(挨拶、身の回りの英語) ・言葉の練習・歌 ・カードゲームやコミュニケーションゲーム ・自己表現活動	⑥	(知) 日常生活で用いる簡単な表現を知ることができる。 (思) 学習した事柄を用いて、自分のことを表現したり、他者とコミュニケーションを取ったりすることができる。 (学) 外国語の文化や風習を知り、主体的に外国語を学ぼうとする態度を養う。		学級	3
	「選挙について知ろう」【主権者教育】 ・選挙と選挙権について知る。		(知) 学校生活の充実や向上のために、生徒の総意によって生徒会の組織作りを行うという生徒会選挙の目的と投票の仕方について理解することができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、立候補者の意見を聞きながら、自分から判断して投票を行うことができる。 (学) 集団の形成者として、積極的に学校生活の充実と向上に参画しようとする態度を養う。		学級	4
	「公共のルールを守って買物に行こう(Ⅱ)」【校外学習】 ・交通ルールや公共の場所でのマナーについて学ぶ。 ・お楽しみ会で渡すプレゼントを買う。 ・校外学習の振り返りを行う。	⑤	(知) 公共のルールやマナーについて知ったり、校外学習の活動の流れについて見通しをもったりすることができる。 (思) 学習したルールやマナーを意識しながら校外学習を行い、公共の施設を利用することができる。 (学) 公共のルールやマナーを知ること、社会生活における一員であるということを理解した上で生活を送ろうとする態度を養う。		学級	4
	「お楽しみ会をしよう(Ⅱ)」 ・準備や当日の役割を決め、練習をする。		(知) 活動内容や活動時のルールやマナーを知り、見通しをもつことができる。 (思) 準備段階における作業や当日の自分の役割について見通しをもち、責任をもって行うことができる。 (学) 友達と協力して活動したり、ルールやマナーを意識して集団参加したりする態度を養う。		類型 学級	6
Ⅱ学期授業時数						30
Ⅲ学期	「正月の行事や遊びを知ろう」 ・かるたやたこ揚げ、正月の行事などを知る。	③	(知) 日本の伝統行事である正月について知ることができる。 (思) 実際にかるたやたこ揚げなどの正月遊びを体験し、伝統行事の在り方を考えることができる。 (学) 日本の伝統行事に触れ関心をもち、主体的に学ぼうとする態度を養う。		学級	3
	「感謝の気持ちを伝えよう」【校外学習】 ・お世話になった人へプレゼントを作り、感謝の気持ちを伝える。 ・プレゼントに使う材料を買う。	①②	(知) 家族をはじめ、周囲の人々に支えられて生活ができていることを知ることができる。 (思) お世話になった人たちに対して感謝の気持ちを伝える方法やそのために必要な材料について考える。 (学) 目的をもって外出計画を立て、実行する経験を通して、主体的に公共の施設を利用しようとする意欲や態度を養う。		類型 学級	5
	「お楽しみ会をしよう(Ⅲ)」 ・準備や当日の役割を決め、練習をする。		(知) 活動内容や活動時のルールやマナーを知り、見通しをもつことができる。 (思) 準備段階における作業や当日の自分の役割について見通しをもち、責任をもって行うことができる。 (学) 友達と協力して活動したり、ルールやマナーを意識して集団参加したりする態度を養う。		類型 学級	6
Ⅲ学期授業時数						14
総授業時数						70

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅰ類型		国語科	①国語「こくご☆☆☆」（文部科学省）		
目標	(知) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。 (思) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図ろうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学期	「友達にインタビューしよう」 ・ 友達の名前、好きなもの、苦手なもの等を発表する。	①	(知) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などを注意して話すことができる。 (思) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図ろうとする態度を養う。	学級 個別	3
	「本の借り方を知ろう」【読書指導】 ・ 図書コーナーの使用方法を知り、好きな本を選んで借りる。	①	(知) 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 (思) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図ろうとする態度を養う。		1
	「いろんな文を読もう（1）」 ・ 登場人物の簡単な言葉の中からイメージをもつ。 ・ 内容を理解する。 ・ 分からない語彙の意味を辞書で調べる。	①	(知) 比較や分類の仕方、辞書や辞典の使い方などを理解して使うことができる。 (思) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図ろうとする態度を養う。		6
	「体育祭の思い出を書こう」 ・ 言葉を視覚化して（写真を選び説明する）内容の理解を図る。 ・ いつ、どこで、だれが、何を、どうしたを明確に書く。	①	(知) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。 (思) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図ろうとする態度を養う。		3
Ⅰ学期授業時数					13
2 学期	「挨拶や会話をする力を高めよう」 ・ 日常生活に必要な挨拶や会話文について考え、実践する。 ・ 相手の話を聞き、答える方法について知る。 ・ 状況によってどのように言ったら良いかを考える。	①	(知) 日常生活で人とのやり取りを通して、人や事物との関わりの中で必要とされる言葉を理解したり、適切に使ったりすることができる。 (思) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語で考えたり、自分が見聞きしたりしたことや経験を様々な相手と気持ちなどを共有するために伝え合う力の向上を図ろうとする態度を養う。	学級 個別	3
	「いろんな文を読もう（2）」 ・ 図や写真のある文章を読み、イメージをもつ。	①	(知) 比較や分類の仕方、辞書や辞典の使い方などを理解し使うことができる。 (思) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図ろうとする態度を養う。		6
	「文化祭の思い出を書こう」 ・ 言葉を視覚化して感情や様子を表す言葉の理解を図る。	①	(知) 社会生活に関わる人とのやり取りを通して、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。 (思) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図ろうとする態度を養う。		3
	「文字や言葉を知ろう（1）」 ・ 平仮名や片仮名、漢字やアルファベット、ローマ字などを学習し、音読したり書いて表現したりする。	①	(知) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。 (思) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図ろうとする態度を養う。		3
2学期授業時数					15
3 学期	「書き初めをしよう」 ・ 筆を使って書き初めをする。	①	(知) 姿勢や用具の持ち方を正しくして形を整えて書くことができる。 (思) 書き初めの文化に触れ、書き初めにふさわしい言葉を考えたり、書き方を工夫したりすることができる。 (学) 言葉や文字がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。	学級 個別	2
	「文字や言葉を知ろう（2）」 ・ これまでの学習によって獲得した平仮名や片仮名、漢字やアルファベット、ローマ字などを用いて、新年の抱負や将来への希望等を言葉で表明したり、文章化したりする。	①	(知) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。 (思) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図ろうとする態度を養う。		2
	「いろんな文を読もう（3）」 ・ 登場人物の簡単な言葉の中からイメージをもつ。 ・ 物語や詩の内容を理解する。	①	(知) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。 (思) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図ろうとする態度を養う。		3
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅰ類型		数学科	①数学「さんすう☆☆☆」（文部科学省）		
目 標	（知）数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付ける。				
	（思）日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的・発展的に考察する力や数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。				
	（学）数学的活動の楽しさや数学の良さに気付き、学習を振り返ってより良く問題を解決しようとする態度や、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「数と計算の学習をしよう（Ⅰ）」 ・まとまりに分割して数える。（千までの数） ・色や形、大きさなどに分類して数える。（千までの数） ・3位数の表し方について理解する。 ・数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解する。 ・数直線上の目盛を読んだり、理解したりする。 ・2位数＋2位数、2位数－2位数 ・筆算（加法・減法） ・計算機を使用した計算（加法・減法）	①	（知）3位数程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法や減法、乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することに関する技能を身に付ける。 （思）数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道を立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を養う。 （学）数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級 個別	8
	「図形の学習をしよう」 ・色や形、大きさなどに分類する。 ・直線や三角形、四角形や正方形、長方形や円などについて知る。 ・正方形や長方形などを作ったり、分解したりする。 ・直角や頂点、辺及び面を知る。 ・図形を書いたり、簡単な図表を作ったりする。	①	（知）三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形について理解し、図形についての感覚を豊かにするとともに、図形を作図したり、構成したりすることなどに関する知識・技能を身に付ける。 （思）三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形を構成する要素に着目して、平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から関連付けて考えたりする力を養う。 （学）図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。		5
Ⅰ学期授業時数					13
2 学 期	「数と計算の学習をしよう（2）」 ・乗法が用いられる場合や意味について知る。 ・乗法の簡単な性質の理解 ・九九 ・1位数×1位数 ・金銭の数え方を知る。 ・金種を理解する。 ・金銭の支払い方を知る。	①	（知）3位数程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法や減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することに関する技能を身に付ける。 （思）数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道を立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を養う。 （学）数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級 個別	8
	「測定の学習をしよう」 ・長さや重さ、高さや広さの量の大きさを知る。 ・目盛の原点を対象の端に当てて測定する。 ・mm・cm・mやg・kg・mL・dL・Lについて知る。 ・長い・短い、重い・軽い、高い・低い、広い・狭いを知る。 ・時刻の読み方を理解する。 ・時間、分を理解する。 ・昨日、今日、明日などを理解する。 ・カレンダー	①	（知）身の回りにある長さや体積、重さ及び時間の単位と測定の意味について理解し、量の大きさに関する感覚を豊かにするとともに、それらを測定することに関する技能を身に付ける。 （思）身の回りの事象を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力を養う。 （学）数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。		7
2学期授業時数					15
3 学 期	「データを活用しよう」 ・具体物に対応させる。 ・色や形、大きさを見分ける。 ・色や形、大きさを組み合わせる。 ・簡単な絵や記号で表やグラフを作る。 ・身の回りの数量を表やグラフに表したり、読み取ったりする。	①	（知）身の回りにあるデータを分類・整理して簡単な表やグラフに表したり、それらを問題解決において用いたりすることに関する技能を身に付ける。 （思）身の回りの事象を、データの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり、考察したりする力を養う。 （学）データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級 個別	7
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅰ類型		音楽科	① 音楽「音楽☆☆☆☆」(文部科学省)		
目標	(知) 曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱や器楽、音楽づくりや身体表現の技能を身に付ける。 (思) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏の良さを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができる。 (学) 主体的に楽しく音や音楽に関わり、協働して音楽活動を楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「みんなて歌おう」 ・学年共通曲等を覚えて歌う活動	①	(知) 歌唱の活動を通して、曲名や曲想と音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりする。 (知) 器楽の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや多様な楽器の音色と全体の響きとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりする。	類型 学級	2
	「季節の歌を歌おう(春・夏)」 ・春・夏を感じることができる曲を歌う活動	①	(知) 音楽づくりの活動を通して、いろいろな音の響きやその組み合わせの特徴やリズム・パターンや短い旋律のつなぎ方の特徴に気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりする。 (知) 身体表現活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや曲名や歌詞と体の動きとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりする。	類型 学級	3
	「リズムに合わせて体を動かそう」 ・リズムを感じながら体の動きを模倣する活動	①	(知) 鑑賞の活動を通して、曲や演奏の良さなどを見いだし、曲全体を味わって聴いたり、曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて理解したりすることができる。	類型 学級	4
	「楽器の演奏をしよう」 ・音楽に合わせて、楽器を演奏する活動	①	(思) 歌唱の活動を通して、歌唱表現に関する知識や技能を得たり、生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。	類型 学級	3
	「鑑賞(Ⅰ)」 ・音楽を鑑賞する活動	①	(思) 器楽の活動を通して、器楽表現に関する知識や技能を得たり、生かしたりしながら、曲想にふさわしい表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 (思) 音楽づくりの活動を通して、音楽づくりに関する知識や技能を得たり、生かしたりしながら、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ることや、音を音楽へと構成することについて、思いや意図をもつことができる。	類型 学級	1
Ⅰ学期授業時数			(思) 身体表現の活動を通して、身体表現に関する知識や技能を得たり、生かしたりしながら、リズムの特徴や曲想を感じ取り、体を動かすことについて、思いや意図をもつことができる。		13
2 学 期	「季節の歌を歌おう(秋・冬)」 ・秋・冬を感じることができる曲を歌う活動	①	(思) 鑑賞の活動を通して、鑑賞に関する知識を得たり、生かしたりしながら、曲や演奏の良さなどを見いだして聴いたり、曲想と音楽の構造等との関わりについて理解したりすることができる。	類型 学級	6
	「楽器の演奏をしよう」 ・伴奏に合わせて合奏する活動	①	(学) 主体的に楽しく音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	類型 学級	8
	「鑑賞(2)」 ・音楽を鑑賞する活動	①		類型 学級	1
2学期授業時数					15
3 学 期	「卒業証書授与式の歌を歌おう」 ・範唱を聴き、歌う活動 ・伴奏に合わせて歌う活動	①		類型 学級	3
	「心を込めて歌おう」 ・卒業証書授与式で歌う歌を練習する活動	①		類型 学級	4
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅰ類型		美術科	①美術「かこさとしをつくしい絵」(偕成社)		
目標	(知) 造形的な視点について理解し、意図に応じて自分の表現方法を見だし、創造的に表すことができる。 (思) 豊かに発想して構想を練ったり、文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。 (学) 主体的に活動を行い、創造活動の喜びを味わって、心豊かな生活を創造していこうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「工芸～タイルを使った小箱作り～」 ○木材とタイルを用いた小箱作り ・デザインやテーマの検討 ・木材磨き ・下準備 ・タイルを用いた表現 ・目地塗り ・仕上げ ・作品の展示・鑑賞	①	(知) タイルを貼る接着剤や目地の量を調整しながら、小箱を制作することができる。 (思) 完成をイメージしながら、アイデアスケッチを描き、表現することができる。 (学) 制作活動を通して、自発的に制作を行い、創作する喜びや達成感を感じようとする態度を養う。	学級	6
	「版画の制作」 ○コラグラフ版画の技法を用いた制作 ・デザインやテーマの検討 ・使用する素材の検討 ・デザイン画を基にした制作 ・作品の展示・鑑賞	①	(知) 素材による模様の違いや刷り方を理解して、版画を制作することができる。 (思) 表現したいことをアイデアスケッチにまとめ、仕上がりの模様をイメージしながら、使いたい素材を選んで制作することができる。 (学) 制作活動を通して、自発的に制作を行い、創作する喜びや達成感を感じようとする態度を養う。		7
Ⅰ学期授業時数					13
2 学 期	「卒業記念作品の制作」 ○時計の制作 ・デザインの検討 ・紙粘土などを用いた飾りの制作 ・土台の制作 ・時計針や電池パックの取り付け ・作品の展示・鑑賞	①	(知) 粘土の性質を理解し、用途に合わせて選択した道具を扱って、粘土を形成することができる。 (思) 完成をイメージしながら、デザイン画を描き、表現することができる。 (学) 制作活動を通して、自発的に制作を行い、創造する喜びや達成感を感じようとする態度を養う。	学級	11
	「卒業証書授与式を花で飾ろう(Ⅰ)」 ○卒業証書授与式に向け、教室や廊下等を装飾する作品の制作 ・デザイン画や制作分担の理解 ・飾りの制作	①	(知) 自分が担当する部分を理解し、紙をちぎって貼ったり、絵などを描いたりして、表現することができる。 (思) 学級で意見を出し、デザインや分担する場所を考えることができる。 (学) 作品の完成に期待感をもち、これまでの思い出を思い起こしたり、最後まで協力したりしながら、制作しようとする態度を養う。		4
2学期授業時数					15
3 学 期	「卒業証書授与式を花で飾ろう(2)」 ○卒業証書授与式に向け、教室や廊下等を装飾する作品の制作 ・デザイン画を基にした表現 ・作品の展示・鑑賞	①	(知) 自分が担当する部分を理解し、紙をちぎって貼ったり、絵などを描いたりして、表現することができる。 (思) 学級で意見を出し、デザインや分担する場所を考えることができる。 (学) 作品の完成に期待感をもち、これまでの思い出を思い起こしたり、最後まで協力したりしながら、制作しようとする態度を養う。	学級	7
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等		教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅰ類型		保健体育科		①保健体育「めくってはっけん からだのふしぎ」(学研)		
目標	(知) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付ける。					
	(思) 各種の運動や健康な生活における自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。					
	(学) 各種の運動に積極的に取り組み、決まりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動しようとする態度や、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進と回復を進んで行おうとする態度を養う。					
期	単元名・指導内容		教科書	単元目標	授業形態	時数
通 年	「体づくり運動(体力づくり)」 ・ストレッチ ・ランニングなど			(知) 体はぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地良さを味わうとともに、その行い方を理解し、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。 (思) 体はぐしの運動や体の動きを高める運動に関する自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と活動と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 体はぐしの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組み、決まりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動しようとする態度を養う。	類型 学級	1学期 19.5 2学期 22.5 3学期 10.5
Ⅰ 学 期	「ダンス(体育祭の取組)」 ・学年種目練習(南中ソーランなど) ・入退場練習 ・全体練習			(知) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、表現したり、踊ったりすることができる。 (思) ダンスに関する自分やグループの課題を見付け、その課題解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学) ダンスに積極的に取り組み、友達の良さを認め助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動しようとする態度を養う。	学年 類型	8
	「ニュースポーツ(Ⅰ)」 ・ポッチャ			類型		3
	「水泳運動(Ⅰ)」 ・泳力測定 ・アクアビクス ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎなど		2			
	Ⅰ学期授業時数					32.5
	2 学 期	「水泳運動(2)」 ・泳力測定 ・アクアビクス ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎなど			(知) 水泳運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付ける。 (思) 水泳運動に関する自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 水泳運動に積極的に取り組み、決まりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動しようとする態度を養う。	類型
「球技」 ・ゴール型(バスケットボール、サッカー、ポートボールなど) ・ネット型(バレーボール、卓球、バドミントンなど) ・ベースボール型(キックベースボール、ティーボールなど)		5				
「ニュースポーツ(2)」 ・ドッジビー グラウンドゴルフなど		(知) ニュースポーツの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思) ニュースポーツについての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学) ニュースポーツに積極的に取り組み、決まりや簡単なルールを守り友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動しようとする態度を養う。	3			
「体づくり運動(新体力テスト)」 ・握力 ・上体起こし ・長座体前屈 ・50m走 ・20mシャトルラン ・反復横跳び ・立ち幅跳び ・ハンドボール投げ		(知) 体づくりの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地良さを味わうとともに、その行い方を理解し、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。 (思) 体づくりの運動や体の動きを高める運動に関する自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と活動と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 体づくりの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組み、決まりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動しようとする態度を養う。	3			
2学期授業時数					37.5	
3 学 期	「陸上競技」 ・長距離走など		①	(知) 陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解して基本的な技能を身に付ける。 (思) 陸上運動に関する自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 陸上運動に積極的に取り組み、決まりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動しようとする態度を養う。	類型	5
	「保健(心の健康のために)」 ・ストレスへの対処			(知) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付ける。 (思) 自分の健康・安全に関する課題を見付け、その解決のために活動と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進と回復を進んで行おうとする態度を養う。		2
3学期授業時数						17.5
総授業時数						87.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅰ類型		特別活動			
目標	(知) 集団行動や活動、友達と協力する意義について知ることができる。 (思) より良い学校生活を築くために、お互いに理解し合うための行動について考えることができる。 (学) 集団の中で、友達と関わり合いながらコミュニケーションの力を高めようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ学期	「学級組織づくり(Ⅰ)」 ・自己紹介、学級組織づくりを行う。 ・Ⅰ学期の個人目標を決める。	(知) 新しい友達やⅠ学期の取組内容と学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活を集団で取り組むために、話し合いて自分の思いを表現したり、友達の思いを聞いたりすることができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	3	
	「学級活動(Ⅰ)」 ・学級での活動の内容や計画について確認や話し合いをする。	(知) 活動の内容や活動の計画を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動のし好や楽しさを感じたりすることができる。 (学) 友達と協力して活動しようとする態度を養う。		6	
	「集会活動(Ⅰ)」 ・新入生歓迎会などの活動を行う。	(知) 集団の中で自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見だし、課題解決に向けた取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学部 類型	2	
	「Ⅰ学期の振り返りと夏休みの生活」 ・Ⅰ学期を振り返る。 ・夏休みの生活について確認する。	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標に向けて取り組めたかを考えることができる。 (思) 自分の役割や自分の目標を振り返り、課題を見いだすことができる。 (学) 学校生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学級	2	
Ⅰ学期授業時数				13	
2学期	「学級組織づくり(Ⅱ)」 ・2学期の個人目標を決める。	(知) 2学期の取組内容と学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活を集団で取り組むために、話し合いて自分の思いを表現したり、友達の思いを聞いたりすることができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	1	
	「学級活動(Ⅱ)」 ・学級での活動の内容や計画について確認や話し合いをする。	(知) 活動の内容や活動の計画を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動のし好や楽しさを感じたりすることができる。 (学) 友達と協力して活動しようとする態度を養う。		9	
	「文化祭の取組」 ・文化祭の活動や計画について知る。	(知) 活動の内容や活動の計画を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりすることができる。 (学) 友達と協力して活動しようとする態度を養う。		2	
	「生徒会選挙に向けた取組(Ⅰ)」 ・生徒会の選挙について知る。	(知) 学校生活の充実や向上のために、生徒の総意によって生徒会の組織作りを行うという生徒会選挙の目的と投票の仕方について理解することができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、立候補者の意見を聞きながら、自分から判断して投票を行うことができる。 (学) 集団の形成者として、積極的に学校生活の充実と向上に参画しようとする態度を養う。		1	
	「2学期の振り返りと冬休みの生活」 ・2学期を振り返る。 ・冬休みの生活について確認する。	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標に向けて取り組めたかを考えることができる。 (思) 自分の役割や自分の目標を振り返り、課題を見いだすことができる。 (学) 学校生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。		2	
2学期授業時数				15	
3学期	「学級組織づくり(Ⅲ)」 ・3学期の個人目標を決める。	(知) 3学期の取組内容と学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活を集団で取り組むために、話し合いて自分の思いを表現したり、友達の思いを聞いたりすることができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	1	
	「学級活動(Ⅲ)」 ・活動内容や計画について確認や話し合いをする。	(知) 活動の内容や活動の計画を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動のし好や楽しさを感じたりすることができる。 (学) 友達と協力して活動しようとする態度を養う。		3	
	「生徒会選挙に向けた取組(Ⅱ)」 ・生徒会の選挙についての手順を知り、投票を行う。	(知) 学校生活の充実や向上のために、生徒の総意によって生徒会の組織作りを行うという生徒会選挙の目的と投票の仕方について理解することができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、立候補者の意見を聞きながら、自分から判断して投票を行うことができる。 (学) 集団の形成者として、積極的に学校生活の充実と向上に参画しようとする態度を養う。		1	
	「集会活動(Ⅱ)」 ・3年生を送る会などの集会を行う。	(知) 集団の中で自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見だし、課題解決に向けた取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学部 類型	1	
	「1年間の振り返り」 ・1年を振り返る。	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標に向けて取り組めたかを考えることができる。 (思) 自分の役割や自分の目標を振り返り、課題を見いだすことができる。 (学) 学校生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学級	1	
3学期授業時数				7	
総授業時数				35	

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅰ類型		自立活動			
目標	(知) 障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識や技能、度及び習慣を養う。 (思) 障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な思考力・判断力・表現力を身に付ける。 (学) 障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な学びに向かう力や人間性を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ学期	「個々の課題」 6区分27項目から個々の生徒に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。 (1) 健康の保持 ・ストレッチ、バランスボール、ラジオ体操など (2) 心理的な安定 ・音楽鑑賞、描画、読書、トランポリンなど (3) 人間関係の形成 ・ゲーム(カードゲーム、風船バレー) など (4) 環境の把握 ・スケジュールの読み取り、危険認知の学習など (5) 身体の動き ・ビーズ通し、ひも結び、型はめなど (6) コミュニケーション ・言葉の理解、感情の理解、絵・写真・文字カードの理解、身振りサインの理解、会話のルール・マナーなど ※「個別の指導計画」で設定した年間目標の達成を目指し、個々の課題を設定していく。		(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、興味をもって自分の課題に取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、成就感を味わいながら友達と協力することができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、自己を肯定的に捉え、次に生かそうとする態度を養う。	学級 個別	52
Ⅰ学期授業時数					52
Ⅱ学期	「個々の課題」 6区分27項目から個々の生徒に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。 (1) 健康の保持 ・ストレッチ、バランスボール、ラジオ体操など (2) 心理的な安定 ・音楽鑑賞、描画、読書、トランポリンなど (3) 人間関係の形成 ・ゲーム(カードゲーム、風船バレー) など (4) 環境の把握 ・スケジュールの読み取り、危険認知の学習など (5) 身体の動き ・ビーズ通し、ひも結び、型はめなど (6) コミュニケーション ・言葉の理解、感情の理解、絵・写真・文字カードの理解、身振りサインの理解、会話のルール・マナーなど ※「個別の指導計画」で設定した年間目標の達成を目指し、個々の課題を設定していく。		(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、興味をもって自分の課題に取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、成就感を味わいながら友達と協力することができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、自己を肯定的に捉え、次に生かそうとする態度を養う。	学級 個別	60
Ⅱ学期授業時数					60
Ⅲ学期	「個々の課題」 6区分27項目から個々の生徒に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。 (1) 健康の保持 ・ストレッチ、バランスボール、ラジオ体操など (2) 心理的な安定 ・音楽鑑賞、描画、読書、トランポリンなど (3) 人間関係の形成 ・ゲーム(カードゲーム、風船バレー) など (4) 環境の把握 ・スケジュールの読み取り、危険認知の学習など (5) 身体の動き ・ビーズ通し、ひも結び、型はめなど (6) コミュニケーション ・言葉の理解、感情の理解、絵・写真・文字カードの理解、身振りサインの理解、会話のルール・マナーなど ※「個別の指導計画」で設定した年間目標の達成を目指し、個々の課題を設定していく。		(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、興味をもって自分の課題に取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、成就感を味わいながら友達と協力することができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、自己を肯定的に捉え、次に生かそうとする態度を養う。	学級 個別	28
Ⅲ学期授業時数					28
総授業時数					140

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅰ類型		総合的な探究の時間			
目標	(知) 卒業後の生活を見通しながら、自らの課題について考え、友達と協力して活動することの大切さを知ることができる。 (思) 自分をよく知り、仕事や生活について、自分の将来に関心をもち、自分を表現する力を養う。 (学) 自分の将来について考え、働くことや余暇に興味関心をもって活動しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ 学 期	「進路学習(Ⅰ)」 ・年間予定を知る。	(知) 1年間の学習予定について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 将来の生活について、考えることができる。 (学) より良い将来の生活に向けて、意欲・関心が高まる。	類型	1	
	「職場実習に向けて事前学習」 ・予定を知り、目標を立てる。	(知) 職場実習の予定を知り、実習の見通しをもつことができる。 (思) 自分の課題を考えることができる。 (学) 職場実習に向けた目標を達成しようとする態度を養う。	類型 学級	1	
	「出島クリーン作戦(Ⅰ)」 ・情報を集める。 ・役割を決め、実施する。 ・まとめる。	(知) 学校や地域のために自分ができることについて考え、活動できることを知ることができる。 (思) より良い活動するために自分ができる役割を考えることができる。 (学) 主体的・協働的に活動し、充実した活動にしようとする態度を養う。	学年 類型 学級	5	
	「サークル活動(Ⅰ)」 ・好きな活動を選択する。 ・友達と活動をする。	(知) 活動の流れやルール、用具の使い方を知ることができる。 (思) 活動の楽しさを感じたり、友達と協力して活動したりすることができる。 (学) 友達と協力して活動したり、ルールを守って集団で活動しようとする態度を養う。	類型 学級	6	
Ⅰ学期授業時数				13	
2 学 期	「出島クリーン作戦(Ⅱ)」【校外学習】 ・情報を集める。 ・役割を決め、実施する。 ・まとめる。	(知) 学校や地域のために自分ができることについて考え、活動できることを知ることができる。 (思) より良い活動するために自分ができる役割を考えることができる。 (学) 主体的・協働的に活動し、充実した活動にしようとする態度を養う。	学年 類型 学級	4	
	「サークル活動(Ⅱ)」 ・好きな活動を選択する。 ・友達と活動をする。	(知) 活動の流れやルール、用具の使い方を知ることができる。 (思) 活動の楽しさを感じたり、友達と協力して活動したりすることができる。 (学) 友達と協力して活動したり、ルールを守って集団で活動しようとする態度を養う。	類型 学級	2	
	「国際理解学習」 ・外国の文化について知る。	(知) 世界の文化に触れ、国際理解の必要性について知ることができる。 (思) 世界の言語や音楽、食文化などを知り、交流することができる。 (学) 国際理解学習について興味関心を持ち、体験しようとする態度を養う。	類型 学級	2	
	「卒業後の生活を考えよう」【校外学習】 ・施設で余暇体験をする。	(知) 将来の生活に必要な余暇の過ごし方について知ることができる (思) 自分の将来の生活についてイメージし、考えることができる。 (学) 福祉センターなどの施設の利用体験を通して、余暇の過ごし方を学ぼうとする態度を養う。		3	
	「卒業証書授与式の取組(Ⅰ)」 ・流れを知る。 ・卒業証書授与式の練習をする。	(知) 卒業証書授与式の流れや卒業証書の受け取り方を知り、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分の活動内容を意識しながら、卒業証書授与式の練習を行うことができる。 (学) 学生生活の集大成として、立派に成し遂げようとする態度を養う。	学年 類型 学級	4	
2学期授業時数				15	
3 学 期	「卒業証書授与式の取組(Ⅱ)」 ・卒業証書授与式の練習をする。	(知) 卒業証書授与式の流れや卒業証書の受け取り方を知り、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分の活動内容を意識しながら、卒業証書授与式の練習を行うことができる。 (学) 学生生活の集大成として、立派に成し遂げようとする態度を養う。	学年 類型 学級	5	
	「進路報告会」 ・自分の進路について発表する。	(知) 実習における目標の達成や頑張りを認めることができる。 (思) 実習の報告を通して、卒業後の必要な力について、イメージすることができる。 (学) 将来の生活に向けて、自分のできることにについて取り組もうとする態度を養う。	類型 学級	1	
	「進路学習(Ⅱ)」 ・1年のまとめをする。	(知) 進路学習や職場実習等の振り返りを行い、卒業後の生活を知ることができる。 (思) 卒業後の生活の場に関して、大まかに理解し、自分の将来の生活についてイメージをもつことができる。 (学) 将来の生活に必要な課題に取り組もうとする態度を養う。	類型	1	
3学期授業時数				7	
総授業時数				35	